

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和03年09月10日

計画の名称	関ヶ原町における循環のみちの実現（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度（1年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	関ヶ原町														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		79	A	79	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和2年度	令和2年度	令和2年度
1	処理場におけるストックマネジメント計画を策定し（令和2年度）、改築対策の実施率を0％から10％に増加させる。			
	処理場における老朽施設の改修率	0%	10%	10%
	更新済の施設数（箇所）／更新すべき施設数（箇所）			
2	マンホールポンプ場におけるストックマネジメント計画を策定。			
	マンホールポンプ場におけるストックマネジメント計画の策定率	0%	100%	100%
	計画策定する施設（箇所）／既存の施設数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐	流域水循環計画を含む	☐	地域再生計画を含む	☐

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	関ヶ原町	直接	関ヶ原町	終末処 理場	改築	関ヶ原浄化センタースト ックマネジメント計画	ストックマネジメント計画策 定	関ヶ原町	■					11		策定済	
	A07-002	下水道	一般	関ヶ原町	直接	関ヶ原町	管渠（ 汚水）	改築	関ヶ原町マンホールポン プ場ストックマネジメン ト計画	ストックマネジメント計画策 定	関ヶ原町	■					10		策定済	
	A07-003	下水道	一般	関ヶ原町	直接	関ヶ原町	終末処 理場	改築	関ヶ原浄化センター（改 築更新）	機械・電気設備の更新	関ヶ原町	■					58		策定済	
												小計						79		
												合計						79		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関ヶ原町役場 水道環境課にて実施。	令和3年8月
	公表の方法
	町ホームページにて公表。
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	関ヶ原浄化センターの監視制御施設の電気設備を更新し適正な水処理ができるようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、関ヶ原町下水道ストックマネジメント計画に基づいて事業を進める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	処理場における老朽施設の改修率。		
	最 終 目標値	10%	令和2年度にストックマネジメント計画を策定したことにより、改修率の分母となる更新すべき施設数が、想定していた施設数から4施設の増加したため改修率が減となった。実績値：（18施設数／2か年）÷（34施設＋64施設） 9%
	最 終 実績値	9%	
2	マンホールポンプ場におけるストックマネジメント計画の策定率。		
	最 終 目標値	100%	マンホールポンプ場でストックマネジメント計画を策定する業務対象施設を既存施設全てとした。計画策定率 34箇所（業務対象施設）／34箇所（既存施設）
	最 終 実績値	100%	